

農林水産省食料産業局長賞

『心に残ったワールドカップ給食』

埼玉県新座市立陣屋小学校 四年一組 男子 佐藤 澁樹

ぼくは、サッカーが大好きです。五才の時からずっとサッカーを続けています。

六月にブラジルで開さいされたワールドカップは、世界中のスーパープレーヤー達の真けん勝負とすごいわざの連続です。ぼくは、時差に負けないで朝五時に目覚し時計に起こしてもらいワクワクする毎日でした。

その時に給食日よりワールドカップ給食が出るということを知りました。メニューは、開さい地ブラジル料理のフィジョアード、ナッツライス、コーヒーゼリーです。

ぼくは、すごく楽しみでむねがドキドキしました。なぜなら、ぼくが大好きなブラジル代表せん手のネイマールやダビドルイスが食べている料理をぼくも食べることができると、夢みたいだと思つたからです。そして、その給食を食べたらきつと今よりサッカーが上手になると思えてきてうれしくなりました。

ついに、その日が来ました。

ぼくは、四時間目にいつもふんわり伝わってくる給食のにおいにたまらなくなりました。給食の時間、ぼくのお皿の上にはトマト色のスープの中にたくさんのお豆が入っているフィジョアード。

こん立表の材料に豆と書いてあったのはこれなんだ！とぼくはホッとしました。なぜならブラジルはコーヒーがゆう名なのでコーヒー豆がにているにがいスープだったらどうしようかと少し不安だったからです。しかし、お肉、じゃがいも、お豆、ナスがトマトのあまみでとてもおいしかったのでぼくは、おかわりをしました。

ナッツライスは、ごはんとナッツをまぜて食べるなんて日本にはないので、おそろおそろひと口食べてぼくは目がまんまるになりました。ナッツとごはんをかめばかむほどしつとりサクサクしていてとってもおいしかったです。

日本代表は、ワールドカップ一次リーグで負けてしまったけれど、サッカー王国ブラジルの食事を給食で食べることができてぼくのわすれられない思い出になりました。

いつもおいしくて気持ちのこもった給食を毎日ぼくたちのために考えてくれている栄養士さん、調理師さん、いつも本当にありがとうございます。

ぼくは一年生から給食を残したことがないので、これからも感しやの気持ちをピカピカのお皿で伝えていきたいと思えます。